



[中野佐世子著](#)

2006年 楽しく脳トレしながら手話が学べる「[手話ゲームブック](#)」を出版。

2015年 好評につき「手話ソングブック3 ～あしたも あそぼう～」を出版。

同年「[ハッピーコミュニケーションのすすめ](#)」を発行。

障害者や高齢者など多様な個性を持つ人たちを理解し共に笑顔で生きていくために、私たちがどの様に意識し行動すればよいのかを、様々な具体例を挙げながらまとめた1冊。

- DVD「心のバリアフリーをめざして～合理的配慮と職場のコミュニケーション～」

(株)自己啓発協会 <http://www.e-head.jp/>

これは、「働く障害者に必要な配慮とは？職場でお互いがいい距離感でコミュニケーションを築くには？」を考えるきっかけになるような教材です。



[本郷明美著 講談社](#)

日本の文化である「どぶろく」。いつ頃から見なくなったのだろうか。かつては田舎の村や町では自家製のどぶろくも見られた。それほどどぶろくは生活に密接につながったものだった。小泉政権時代に作られたどぶろく特区、純米酒にこだわる酒蔵が作り出した絶品濁り酒、酒税法にしばられ苦勞する日本酒作り、などなどどぶろくを巡るあれやこれやを真剣にルポルタージュ。世界の濁り酒を知る作家椎名誠氏との対談で見えた人間と酒の関係など。勉強になり笑えて感動するそんなどぶろくを巡る冒険本です。



[又野亜希子著](#)

「ちいさなおばけちゃんとくるまيسのななちゃん」 あけび書房 又野 亜希子(またの あきこ)さん、くるまيسのななちゃんが、ちいさなおばけちゃんから勇気もらい、ちょっとずつ強く成長していく、その様子は亜希子さん自身の成長と同じ。おばけちゃんとはななちゃんの心の支え。それは誰のこと？本を読んで見つけてね！



松尾一也著

◆ 『50代から実る人、枯れる人』(海竜社)

50代というのは、仕事においても家庭においてもこれまでと違うことが噴出します。責任ある大きな仕事を仕切る/子供の教育の総仕上げ/親の介護、看病、見送り……といったライフイベントが迫るかと思えば、一方では、別会社へ転籍になる/役職定年を迎える/給与が3~4割程度減らされる/自分の部下が上司になる……という厳しい現実にとらわれます。こうした荒波にのまれ、体力的にも能力的にも衰えを感じ、寂しさを覚えながらも、残りの後半生をいかに豊かに自分らしく生きていくのか

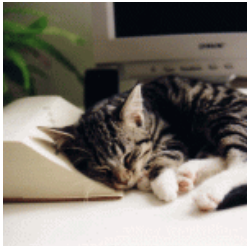


元気のない人へ [滝口仲秋さん](#)からのメッセージ 福祉マップの作成をされ、国内、海外へも精力的に出て研鑽を積まれている。第49回NHK障害福祉賞「矢野賞」を受賞。「我が人生、気力に託す」下記からも作品がご覧いただけます。素敵な文章です。

- 『[東海村社会福祉協議会](#)』 おともだちの澤井正雄さんがお作りになっています。



『INPREX』 [長坂靖子さん](#) 90年度ミスワールド準日本代表。本物のウォーキングを体験し、美しい姿勢を取り戻しましょう。



『[小山千早さん](#)』 スイス在住。 気が優しくて力持ち？日本語、ドイツ語の翻訳者。 楽しい人です。

- 『[YOSHIAKI INOUE GALLERY](#)』 お友達、井上さんのギャラリーです。コンテンポラリーな絵画は私の理解を超えていますが、作家のロバート・クシュナーの作品は、コンテンポラリーアートながら、和紙に花の版画で美しい。大好きな絵です。クシュナーのページをクリックしてください。人間的にも素晴らしい人でNYのご自宅で、作品を見せてもらった。赤がとてもきれい！「あなたの赤は、何か意味があるのですか」と尋ねたら「幼少時代の母から受けた愛情を表すもの」だそう。